

- 1 学 年 小学校 6 年
- 2 テ ー マ 化石の観察
- 3 時 期 秋
- 4 所要時間 45分
- 5 人 数 30人程度
- 6 活動場所 博物館野外・スタディルームなど
- 7 準 備 化石、ルーペ
- 8 展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
<p>1 本時の学習内容を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">化石はどんなことを教えてくれるだろうか？</div> <p>2 話し合って予想する。</p> <p>3 化石を観察して、スケッチをする。</p> <p>4 観察結果から、話し合い活動をする。</p> <p>(1) 観察結果から、化石の特徴と種類について話し合う。</p> <p>(2) 化石の種類からすんでいた時代や環境について話し合う。</p> <p>(3) グループ内で意見をまとめる。</p> <p>5 まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で発見された化石の話聞き、様々な種類の化石を見ることにより探究心を高める。 ・各グループで話し合い活動をもたせ、それぞれの班で、意見をまとめさせる。(担任) ・各グループで各々の標本を観察し、特徴について話し合いながらスケッチをさせるようにする。(担任・博物館職員) ・細部の観察にはルーペを使用させる。 ・話し合い活動を通して、自分の考えを表現する。また他人の意見を受け入れる。(担任) ・化石の種類から地層ができた当時の環境や年代を見いだすことを明確にしていく。 <p>・まとめをすることによって、化石が教えてくれることを明確化していく。(担任)</p>